

読売日本交響楽団《珠玉の二大名曲を聴く》

チャイコフスキー & ラフマニノフ

魂を揺さぶる迫力のサウンド&心震わす哀愁のメロディ

2025年

12月7日(日) 15:00開演(14:15開場)

日立シビックセンター音楽ホール

読売日本交響楽団(管弦楽)
©読響

海老原光(指揮)

熱いタクトで音に
魂を込める俊英

©JUNICHIRO MATSUO

プログラム
Program ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番
チャイコフスキー:交響曲 第6番「悲愴」

全席指定

S席 5,000円 (S席のみ シビックメンバーズ200円引/特別会員300円引)

A席 4,500円 **B席** 3,900円 **高校生以下** 2,500円

チケット発売

9月6日(土)発売 インターネット10:00、電話13:00、窓口 翌日10:00

[シビックメンバーズ先行予約]

8月30日(土)インターネット・電話 ※初日は公演会館のみ

チケット取扱い

インターネット予約は

こちらから▶

[インターネット]

<https://piagettii.s2.e-get.jp/hitachi/pt/>

◆日立シビックセンター TEL 0294-24-7720(9:00~18:00)

◆日立市民会館 TEL 0294-22-6481(9:00~17:30)

◆多賀市民会館 TEL 0294-34-1727(9:00~17:30)

※都合により曲目・出演者等が一部変更になる可能性がございます。

※未就学児のご入場はお断りしています。

※ベビーシッターサービス・車いす席をご希望の方は、日立シビックセンターへ
お申し込みください。

お問い合わせ

日立シビックセンターチケットカウンター TEL 0294-24-7720(9:00~18:00)

石井 琢磨(ピアノ)

“TAKU-音 TV たくおん”
名義のYouTubeで人気。
ベルリン響などと共演して
絶賛された新鋭ピアニスト

主催 公益財団法人日立市民科学文化財団、公益財団法人日本交響楽振興財団

後援 日立市、日立市教育委員会

詳しくは

www.civic.jp



競輪の補助事業

この演奏会は、競輪の補助を受けて開催します。

<https://jka-cycle.jp>

心を揺さぶる激情のチャイコフスキー《悲愴》

人気沸騰、完売続出の石井琢磨が奏でる《哀愁のラフマニノフ》

日本を代表するオーケストラ、読売日本交響楽団が約4年振りに日立に登場！ 実力派指揮者の海老原光がチャイコフスキーの傑作のひとつ、交響曲第6番「悲愴」で読響から豊潤なサウンドを引き出します。チャイコフスキーが最後に完成させたこの交響曲は、初演の9日後に訪れる自らの死を予想していたかのように、悲しみと感傷が渦巻き、はかなく美しいメロディが胸を打ちます。“死”を意識するほど際立つのは、“生”の尊さとまぶしさ。オーケストラが描く、生と死のドラマティックかつ壮大な世界をご堪能ください。

前半には日本人として初めてエネスク国際コンクールで第2位となり、ベルリンのフィルハーモニーにてベルリン響と共演し絶賛された石井琢磨が登場。ラフマニノフの哀愁ただよう名旋律をたっぷりと歌わせ、超絶技巧を披露します。“TAKU-音 TV たくおん”名義のYouTubeチャンネルで総再生回数は1億回を超え、登録者数も31万人を超える新時代を担う注目のピアニストによる演奏にご期待ください。

出演者プロフィール

海老原 光 (指揮) Hikaru Ebihara, Conductor

国際的に活躍して、メキメキと頭角を現す俊英指揮者。鹿児島生まれ。鹿児島ラ・サール中・高校、東京芸術大学を卒業、同大学院修了。その後、ハンガリー国立歌劇場にて研鑽を積む。指揮を小林研一郎、高階正光、コヴァーチ・ヤーノシュの各氏に師事。2007年マタチチ国際指揮者コンクールで第3位、09年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで第6位入賞。10年ペドロッチ国際指揮者コンクールでは審査員特別賞を受賞。これまでに、読響、都響、日本フィル、新日本フィル、東響、東京フィル、名古屋フィル、広響などを指揮。11年から毎年霧島国際音楽祭に登場している。12年、15年にはクロアチア放送響の定期公演(ザグレブ)に出演、19年にはハンガリーのゲデレー響に客演し、好評を博した。



©JUNICHIRO MATSUO

石井 琢磨 (ピアノ) Takuma Ishii, Piano

幅広い活動で人気を博す新鋭ピアニスト。1989年、徳島県鳴門市生まれ。東京芸術大学を経てウィーン国立音楽大学ピアノ科に入学、同大学ピアノ科修士課程を満場一致の最優秀で卒業。古き良きクラシック音楽に軸を置きながら、「クラシックをより身近に」をコンセプトにした動画配信も行っている。2016年ジョルジュ・エネスク国際コンクール第2位受賞(日本人ピアニスト初入賞)。エネスク・フィル、都響、名古屋フィル、広響などと共演。25年6月にはベルリンの殿堂フィルハーモニーにてシェレンベルガー指揮のベルリン響と共演し、絶賛された。“TAKU-音 TV たくおん”名義のYouTubeチャンネルの登録者数は31万人以上。23年のサントリーホール公演は発売3分で完売した。



読売日本交響楽団 (管弦楽) Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

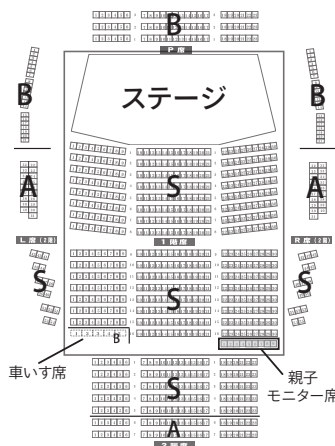
1962年、クラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。創立以来、世界的指揮者、ソリストと共演を重ねている。2019年4月からS.ヴァイグレが第10代常任指揮者を務め、サントリーホールや事業提携を結ぶ東京芸術劇場などで充実した内容の演奏会を多数開催。17年にはサントリー音楽賞などを受賞。22年12月には文化庁芸術祭大賞、24年7月には三菱UFJ信託音楽賞奨励賞を受賞。演奏会の模様は日本テレビ「読響 粗品と絶品クラシック」などで放送されている。

<https://yomikyo.or.jp/>



© 読響

チケットエリアのご案内



会場案内

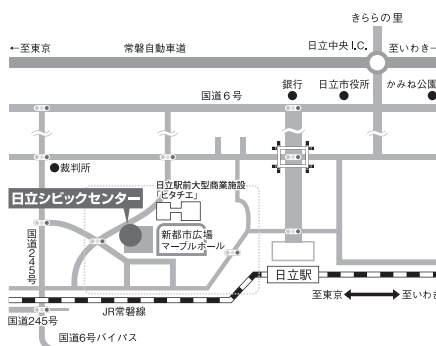
日立シビックセンター

〒317-0073 茨城県日立市幸町1-21-1
TEL:0294-24-7711(代)



交通のご案内

JR常磐線日立駅から徒歩3分
常磐自動車道日立中央インターから8分
地下駐車場204台収容(2時間無料、以降60分毎200円、24時間最大500円※平日のみ)



★ベビーシッターサービス

[料 金] 1人 1,000円
[申込締切] 11月23日(日)
[申 込] 0294-24-7720
1歳から6歳までのお子様を公演中お預かりします。
※0歳の託児はご相談ください。